



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 10. 15

下水道機構の『新技術情報』 第64号

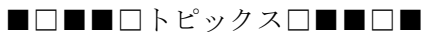
(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



空気もカラッとして空が澄んできましたね。秋、冬は電車の中で密かな楽しみがあります。それは、快晴の日に富士山が見えるということです。「富士山」が見えて、三「鷹」駅で乗り換えると、ランチは「茄子」でも食べようかなあ♪と験を担ぎたくなります(笑)

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第64号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。



★インフォメーション

・10月5日(金)に第1回高知県下水道地震・津波対策検討委員会が高知県にて開催されました

・【専用サイト登録者の皆様へ】

2011年度版 技術マニュアル、技術資料を専用サイトへ掲載しました

★機構の動き

・今週は特に予定はありません

★Tea Break

・秋の京都（京いこうさんからの投稿です）

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

・今週は、研究第二部 藤田研究員より海外出張報告「「Hydro Predict 2012

@ウィーン」をお届けします

★国からの情報

・10月5日付、下水道ホットインフォメーション

.....
インフォメーション (最新の話題です)
.....

●10月5日(金)に第1回高知県下水道地震・津波対策検討委員会が高知県にて開催されました。

本委員会は、南海トラフの巨大地震に備えるため、県内の下水道施設の被害を想定し、市町村と県が連携し地震・津波対策を一体的に推進することを目的としています。

当日は、当委員会の委員でもある国土交通省国土技術政策総合研究所 森田下水道研究官および日本下水道事業団 野村部長より、地震・津波対策に対する考え方や、具体的な対策手法について講演された後、高知大学教育研究部自然科学系農学部門 藤原拓教授が委員長として選任され、「委員会での取り組み方針」、「下水道管理者の役割について」などが議論されました。

※関連記事【2012.10.6 毎日新聞】

<http://mainichi.jp/area/kochi/news/20121006ddlk39040666000c.html>

●【専用サイト登録者の皆様へ】

2011 年度版 技術マニュアル、技術資料を専用サイトへ掲載しましたので、どうぞご利用ください！

- ◇セラミック平膜を用いた循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法技術資料
- ◇下水道用マンホールふたの計画的な維持管理と改築に関する技術マニュアル
- ◇ 衝撃弾性波検査法による管路診断技術資料
- ◇ 監視システムのリスク等低減への活用に関する技術資料
- ◇ 汚泥焼却炉からの N₂O 削減に関する技術資料

公共団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/gov/>

出捐団体等の方はこちら→ <https://www.jiwet.jp/members/support/>

※※専用サイトでご利用いただける内容と Web 登録の仕方がこちらからご覧いただけます。どうぞこの機会にご登録を！

→ http://www.jiwet.jp/pdf/info_members201210.pdf

機構の動き （機構の行事予定です）

●第 309 回技術サロン

日時：平成 24 年 11 月 8 日(木) 17:00～18:00、場所：機構 8 階会議室

講師：国土交通省下水道部 下水道国際・技術開発調整官 白崎 亮 氏

テーマ：「下水道資源のエネルギー利用と技術開発の動向」

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-309.htm>

●第 60 回(平成 24 年度 第 1 回)新技術現場研修会

日時：平成 24 年 11 月 16 日(金) 13:00～17:00

場所：株式会社 G&U 技術研究センター（埼玉県比企郡川島町大字吹塚 732-157）

※JR 川越駅～研修会場まで貸切バスで移動します。

対象：地方公共団体及び出捐・賛助企業の下水道技術者様

見学施設：見学試験設備（予定）：輪荷重走行試験機、水理シミュレーションモデル、浮上試験機、DF テスター（すべり抵抗試験）、材質試験等

※参加お申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-01_060.htm

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●秋の京都（京いこうさんからの投稿です）

これから紅葉の季節である。街路樹そして山々の木々は、緑の中に赤や黄色の葉が目立ち始めた。陽光や風により色合い等が刻一刻様々に変化し、見る者の心を感動させる。特に京都の紅葉は、歴史等と相まって美しい。名所といわれるところでは、東福寺の通天橋からの眺め、南禅寺・永観堂から哲学の道沿い、東山を背景に知恩院から清水寺、嵐山か

ら奥嵯峨の祇王寺そして嵯峨野の田園風景等々枚挙にいとまがない。ただ、以前は穴場的存在だった真如堂等も、今は人の喧騒で心を和ますには程遠い。ホテルは満室、予約もままならない。どこも人ひと人で、人波に押されながら、ほとんど疲れ切ってしまう。

しかし、この季節ならではのめぐり方がある。場所、曜日、時間帯。ゆっくり街中をめぐるといい。鴨川沿いや御所の中、観光バスが止まることのない場所に行き、時間を忘れて風景や自然に溶け込むのもいい。南禅寺境内の水路閣から蹴上までの疏水沿い、市内を眺望する大文字山火床への銀閣寺裏手からの登り道、比叡山延暦寺から曼殊院門跡に下る道。観光客がほとんどいない自然と歴史そして厳かさを感じられる山道もある。また、

葉の残り少なくなった頃も美しい。もののあはれが感じられる。歴史息づく京都には、どこに

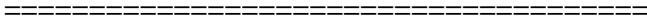
いても心に響く何かがある。今年も京都で新たな発見をしてみよう！

まる子の結まーる （皆様との交流の場です）

●今週は、研究第二部 藤田 研究員より海外出張報告「Hydro Predict 2012

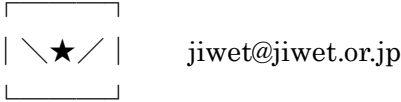
@ウィーン」をお届けします！

http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/hydro-predict-2012.pdf



皆さまからの情報提供をお待ちしておえます！

提供はこちらまで→



※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2012.10.11 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



3 週間前のホットインフォメーションで、随分涼しくなってきましたと書きましたが、今週は、少し寒いくらいになってきました。ここ数日、朝晩の通勤時には上着を手放せなくなりました。当方、若干体調を崩してしまったところがありますが、皆様、十分、お気をつけください。

再掲しています、開催前の報告会等の情報につきましては、数が多くなりましたので、簡潔にさせていただきました。詳細については、記載のホームページ等をご確認ください。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○「日印水環境ワークショップ」を開催しました【下水道企画課】

○「都市開発に関する日印交流会議」を開催しました【下水道企画課】

○第2回水環境マネジメント検討会の開催について【流域管理官】

●技術マニュアル等の電子書籍検索システムの利用開始！【下水道機構】

=====

○「日印水環境ワークショップ」を開催しました【下水道企画課】

「日印水環境ワークショップ」は、インド国ニューデリーにおいて10月3日（水）に国土交通省ならびにインド国都市開発省で共催されました。

日本側からは、水管理・国土保全局岡久下水道部長、国土技術政策総合研究所 堀江下水道研究部長ほかが出席、インド側からは、インド国都市開発省ニシャ・シン局長、インド国都市開発省公衆衛生環境技術中央機構 V.K.チョーラシアアドバイザーほかが出席しました。

インド側からは、

- ・バンガロールでは下水再生水の利用を推進しており(飲用原水としての利用に関心)、住民の理解が必要と認識。
- ・今後、インド全土で下水再生水の利用を促進するためには、再生水の用途の拡大(現在は、主に芝生への散水用水として利用)や再生水のガイドラインの作成等が課題。
- ・財政難から外部資金への期待が大きい。

等の表明がありました。

また、今後、多くの日本企業とインド企業のコラボレーションが進むことに、日印両者が期待を表明しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000177.html

○「都市開発に関する日印交流会議」を開催しました【下水道企画課】

「都市開発に関する日印交流会議」は、インド国ニューデリーにおいて10月4日（木）に国土交通省ならびにインド国都市開発省で共催されました。

日本側からは、水管理・国土保全局岡久下水道部長、国土技術政策総合研究所 堀江下水道研究部長ほかが出席、インド側からは、都市開発省 クリシュナ次官ならびにシンヴィー局長（都市開発担当）ほかが出席しました。

インド側からは、

- ・インド側は、イニシャルコストだけでなく、ランニングコストが安価な技術や優れた汚泥処理の技術を求めている。
- ・インド側は、今後の技術導入について日本からの提案を求めている。
- ・インド側は、提案された個別の技術について、パイロットプラント等の日本側との具体的な連携に前向きである。

等の表明がありました。

また、国土交通省から、国土技術政策総合研究所とインド側研究機関の水環境分野における連携、水リサイクル・再生水および小規模下水道・汚泥管理に関する協力、水環境に関するワークショップやミニセミナー等を提案し、都市開発省から歓迎され

ました。

次回は日本で開催予定です。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000217.html

○第2回水環境マネジメント検討会の開催について【流域管理官】

社会情勢の変化をふまえた上で、水環境の改善に向けた、より効果的・能動的な下水道等管理の実現に向け、新しい時代の水環境マネジメントのあり方を検討するため、「水環境マネジメント検討会」を国土交通省と（公社）日本下水道協会のもとに設置し、第1回検討会が8月16日に開催されたところです。

引き続き水環境マネジメントの議論を具体化すべく、10月17日に第2回検討会を開催いたしますのでお知らせします。

詳細は下記のサイトをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000176.html

●技術マニュアル等の電子書籍検索システムの利用開始！【下水道機構】

下水道機構では、これまで発行した下水道新技術研究所年報、技術マニュアル・技術資料、審査証明報告書等の図書を電子情報化してきました。現在、下水道新技術研究所年報1,857件、技術マニュアル・技術資料245件、審査証明技術やサロン等の資料を加えた計2,973件の下水道事業のほぼ全般にわたる技術をデータベース化しています。

この度、これらの情報を活用しやすいように、10月9日から電子書籍検索システムを導入しました。この検索システムは、図書のタイトル及び本文に使用されている語句を対象に検索できるほか、分野、発行年度、対象部署などの絞り込み機能を有し、ホームページを利用して、地方自治体等の方々が目的の情報を迅速に入手することを可能にしています。今後ともデータベースは充実していきます。類似事例による課題解決等には是非ご活用いただければと思います。

なお、この電子書籍検索システムのご利用には、機構の専用サイトへのWeb登録が必要です。詳細はこちらからご覧いただけます。

http://www.jiwet.jp/pdf/info_members201210.pdf

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

- 日本学術会議主催学術フォーラム（第8回）「巨大災害から生命と国土を護る - 三十学会からの発信 -」のお知らせ【環境システム計測制御学会（EICA）】
（11月29日開催）

<http://jeqnet.org/sympo/no8.pdf>

→10月5日掲載

- 平成24年度下水道光ファイバー技術講習会の開催について【日本下水道光ファイバー技術協会】

(11月9日開催)

<http://www.softa.or.jp/>

→10月5日掲載

●「管路施設における維持管理の包括的民間委託」に関するセミナーの開催について

【日本水道新聞社（日本下水道新聞）】

(東京会場 10月29日開催、大阪会場 11月12日開催)

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/09/post_44.html

→9月21日掲載

●J S技術報告会の開催について【日本下水道事業団】

(10月18日、11月7日開催)

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240911kisya.pdf>

→9月13日掲載

●第24回研究発表会の開催について【環境システム計測制御学会】

(10月25～26日開催)

<http://eica.jp>

→9月13日掲載

=====

【参考情報】

◆南海トラフ巨大地震：「下水道施設」機能守れ 来年5月ガイドライン 検討委初
会合／高知 <10/6 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kochi/news/20121006ddlk39040666000c.html>

◆横浜・下水汚泥焼却灰問題：埋め立て凍結から1年…、「安全」依然隔たり／神奈
川 <10/7 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1210070003/>

◆木津川の水質一斉チェック NPOが本支流22カ所 <10/7 京都新聞>

<http://www.kyoto-np.co.jp/environment/article/20121007000022>

◆陸前高田市 浄化槽の設置補助 自力住宅再建で利用急増 <10/8 東海新報>

http://www.tohkaishimpo.com/scripts/index_main.cgi?mode=kiji_zoom&cd=nws8054

◆水ビジネスと成長＝川崎支局長・渡辺精一 / 神奈川 <10/8 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kanagawa/news/20121008ddlk14070140000c.html>

◆金腐川の風評被害防止へ水質調査 金沢の埋立場下流域 <10/9 北國新聞>

<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/H20121009104.htm>

◆雨水利用の住宅地 糸島に 災害時の断水にも対応 <10/11 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/328467>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

